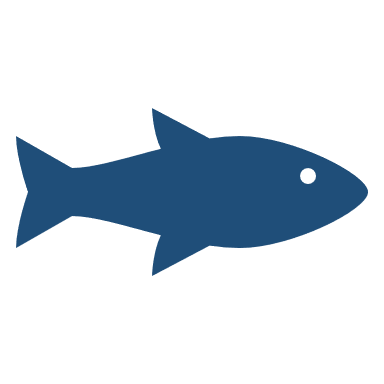
**2022年7月号**

***DIVING CLUB NEWS***

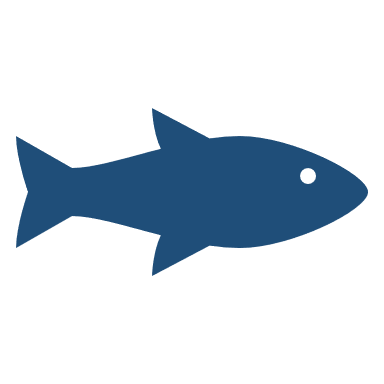
今月は、会員の内田さんからお寄せいただいたダイビング体験記をご紹介いたします。また、ダイビングをもっと楽しむための情報もお届けします。

**ダイビング体験記　～ダイビングが教えてくれた新しい世界～**

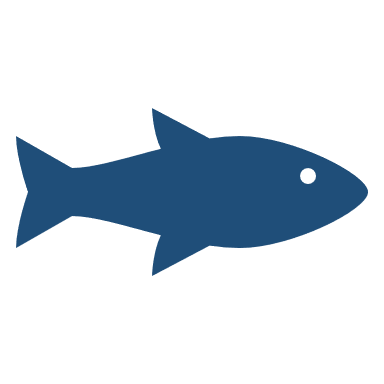
**ダイビングをはじめたきっかけ**

私のはじめてのダイビングは、10年前にオーストラリアのケアンズを旅したときです。ケアンズの美しく透明な海は、水中に潜らずとも水上から見るだけで、色鮮やかな魚たちが泳いでいるのがわかるほどでした。

もともとダイビングをするつもりはなかったのですが、青い空と青い海、その間の水平線を見つめていると、「この地球に生まれてよかった」と思えました。そして、身体の中からエネルギーのようなものが湧き上がってきて、「ダイビング」にチャレンジしてみたくなったのです。

******はじめて訪れた海の中**

インストラクターに誘導されて、はじめて訪問した海の中は、地上とはまったく異なる新しい世界が広がっていました。そこは、美しいというよりも神聖という表現の方が似合う世界で、外からやって来た私は侵入者のような罪悪感さえ覚えました。海に潜ってしばらくは海の威厳に圧倒されましたが、慣れてくると海が自分を受け入れてくれたような気分になり、海が慈愛に満ちたものに思えてきたのです。海と対話できたその瞬間から、私はダイビングにはまっていきました。

**私にとってダイビングとは**

ダイビングをはじめて10年。海は、私にとって心身にたまった毒素を取り除いてくれる偉大なドクターみたいな存在です。青い海に潜って、魚たちと泳ぎ、海面から差し込む陽光を見上げるとき、汚れた何かが自分の中から溶け出していくのを実感します。地上の生活に疲れたときに海の中に潜ると、自分が再生していくのです。

ダイビングの楽しみ方は人それぞれ違いますが、私にとってのダイビングの最大の喜びは、新しい世界、新しい自分に出会えること、それに尽きます。

**おすすめダイビングスポット**

内田さんが実際に訪れたダイビングスポットの中で、おすすめのトップ3をご紹介いただきました。

ダイバーなら一度は訪れておきたい、魅力たっぷりのスポットです。

**おすすめトップ3**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 順位 | 場所 | 特徴 |
| 1位 | パラオ | 南国の海洋生物を楽しむならココ！世界中のダイバーが憧れるダイビングエリアです。 |
| 2位 | ケアンズ | ケアンズ近郊のグレートバリアリーフでは、世界最大のサンゴ礁を楽しめます。 |
| 3位 | サイパン | 潜りやすいポイントが多くビギナーの方におすすめ！日本人も多いので安心です。 |

**ダイビングを楽しむには…**

インストラクターと一緒であればはじめての方でもダイビングを体験できますが、インストラクターなしで自由にダイビングをしたい場合にはダイバーとしての知識やスキルを証明するCカードが必要です。日本では法的に取得が必須というわけではありませんが、Cカードを提示しないと、ダイビング器材の購入やレンタルができなかったり、ダイビングツアーに参加できなかったりする場合があります。

Cカードを取得するには、ダイビング指導団体が認定するコースを受講します。ダイビングのレベルや目的に合わせたコースがあり、それぞれのコースの受講を修了するとCカードが発行されます。Cカードのランクが上がると潜る深さや場所など楽しめる内容が広がります。

ダイビング指導団体（PADI）でのCカードの主な種類は、次のとおりです。

**オープン・ウォーター・ダイバー**

OWD

2人以上のダイバーと一緒にコンディションの良好な海で潜ることができます。

**アドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー**

AOW

18mを超える海で潜ることができます。

**スペシャルティ・ダイバー**

SP

夜の海や流氷の下など特定の分野での専門的なスキルを習得できます。

発行：DIVING CLUB『PUKAPUKA』